



広島県

せらちょう

世羅町

いつまでも住み続けたい日本一のふるさと



# 生涯学習振興・社会教育の 基本事項と自治センターの役割



## 【研修のねらい】

- 生涯学習や社会教育に関する基礎的な事柄や自治センターの役割を理解する。
- 互いの自治センターの取組について情報を交換し，魅力や活気のある運営の工夫について考える。



# 本日の研修の流れと目標



## 【研修のねらい】

- 生涯学習や社会教育に関する基礎的な事柄や自治センターの役割を理解する。
- 互いの自治センターの取組について情報を交換し、魅力や活気のある運営の工夫について考える。

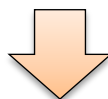




「生涯学習振興・社会教育に  
求められる今日的な役割」

生涯学習とは・・・

生涯学習とは、自己の充実や生活の向上のために、**人生の各段階での課題や必要に応じて、あらゆる場所、時間、方法により学習者が自発的に行う自由で広範な学習**のことである。



**人々が生涯にわたって行うあらゆる学習**

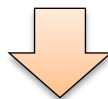


教育基本法 第三条(生涯学習の理念)

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

社会教育とは・・・

社会教育とは、教育のうち、**学校又は家庭において行われる教育を除き、広く社会において行われる教育**のことである。



**学校教育・家庭教育以外の組織的な教育**

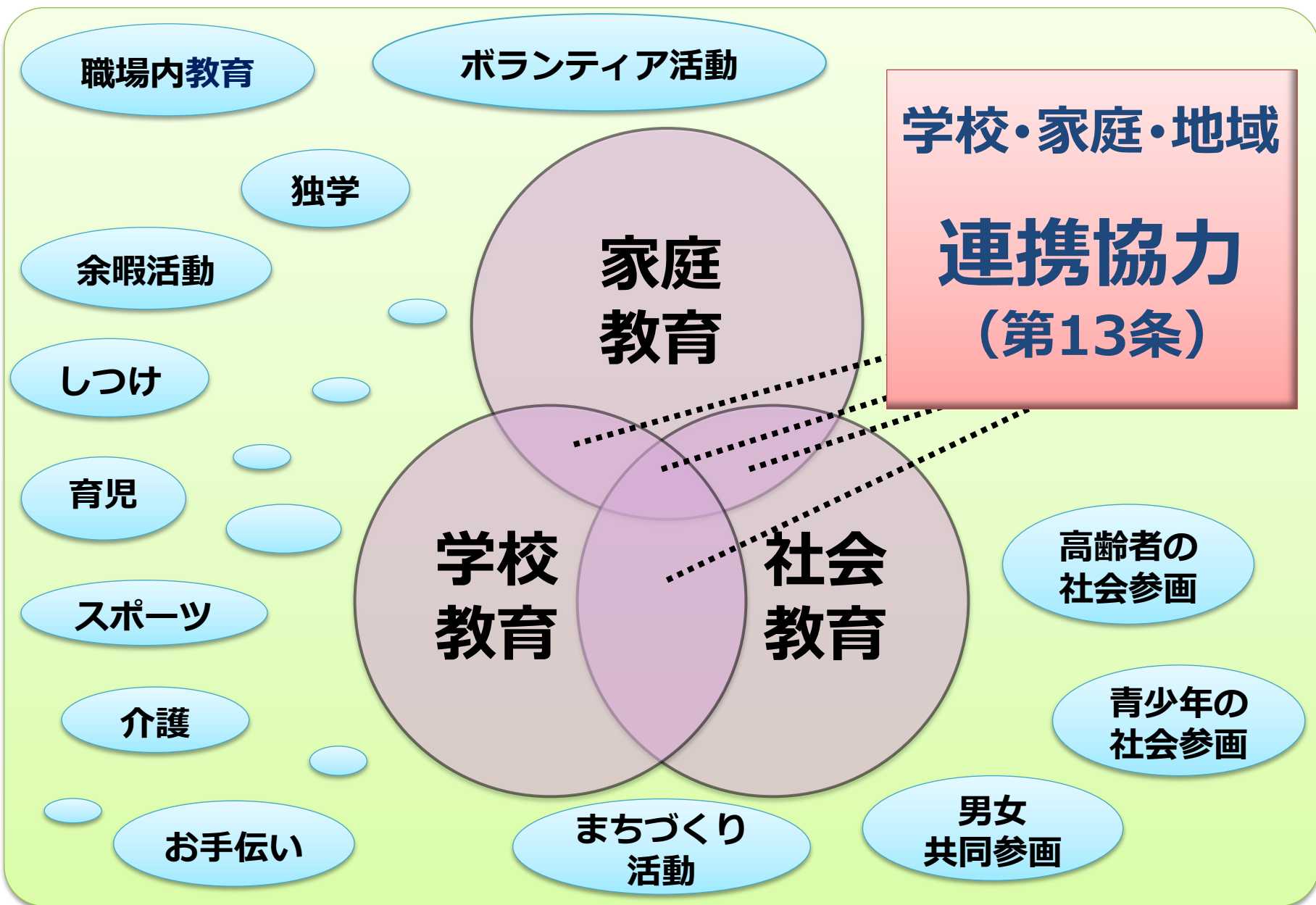


教育基本法 第十二条（社会教育）

**個人の要望や社会の要請**にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

# 生涯にわたる学習（概念）



## 生涯学習振興行政

教育行政

大学

NPO

学校教育

連携

家庭教育  
支援

連携

支援

連携

支援

社会教育

連携・協働

連携・協働

連携  
協働

連携  
協働

民間教育  
事業者

まち  
づくり

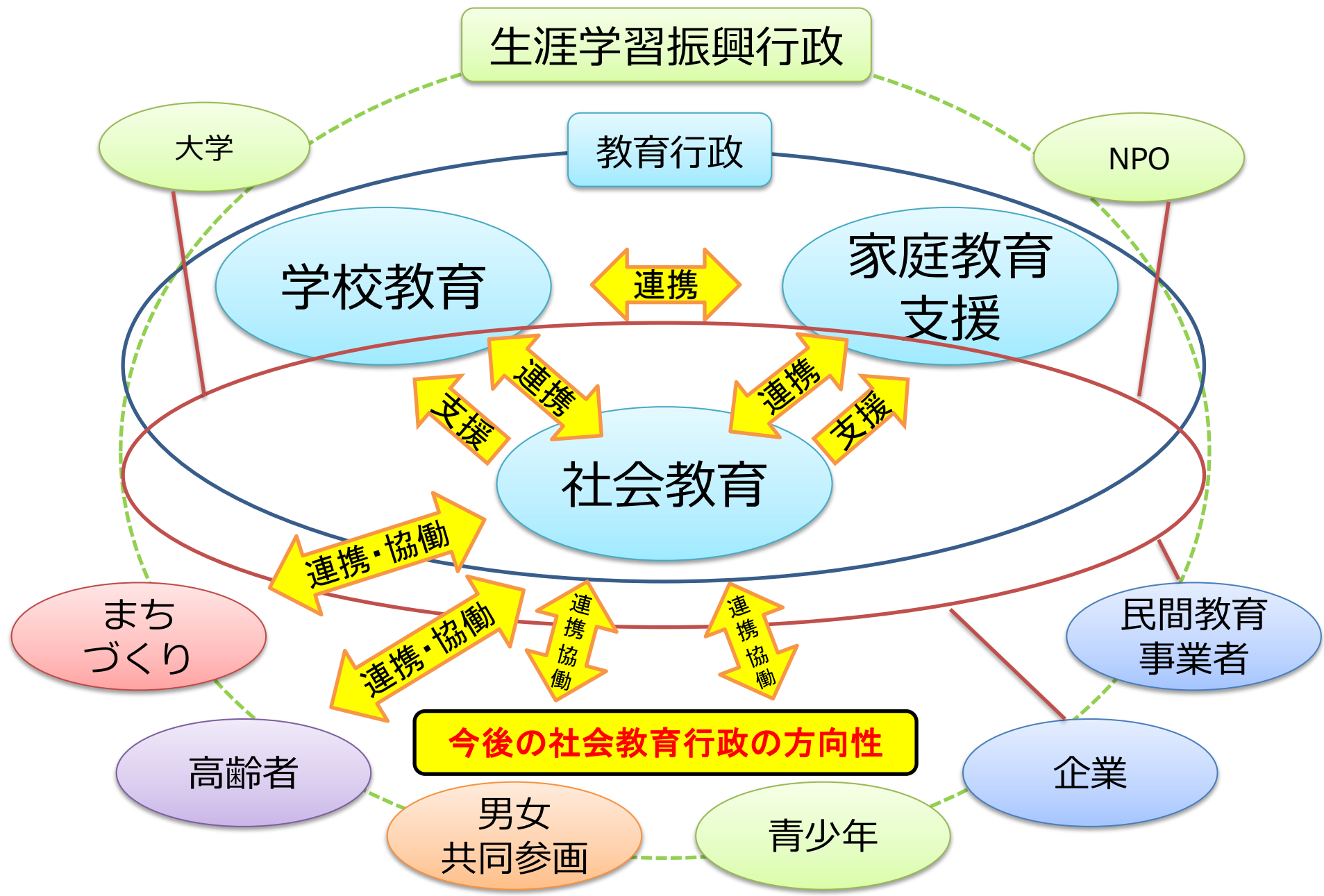
高齢者

今後の社会教育行政の方向性

企業

男女  
共同参画

青少年



新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について  
～知の循環型社会の構築を目指して～（平成20年2月）

○目指すべき施策の方向性

- ①国民一人一人の**生涯を通じた学習**の支援
- ②社会全体の教育力の向上



○施策推進の具体的方策

- ① **「個人の要望」と「社会の要請」**のバランス
- ② **「継承」と「創造」**等を通じた持続可能な社会の発展
- ③ **連携・ネットワークを構築**して施策を推進



# ① 「個人の要望」と「社会の要請」のバランス

## 個人の要望

- 住民のニーズ, 興味, 関心, 願い

(例)

英会話, 読書, 地域の歴史,  
自然観察, 茶道, 俳句,  
将棋, 音楽, 美術, カメラ,  
パソコン, ハイキング,  
自然体験, 親子キャンプ,  
子育て, 介護, 料理,  
読書・・・等

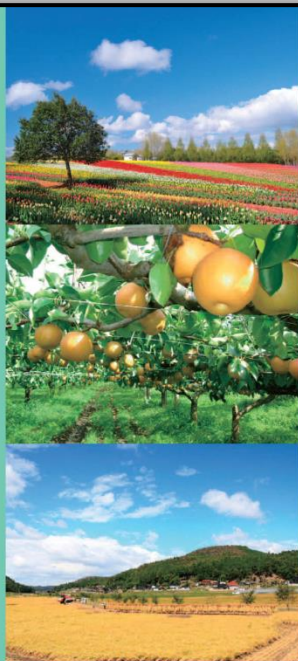
## 社会の要請

- 行政として取組まなければならない社会の存続や発展にとって必要な課題

事業や講座 (両者の**バランス**が大切)

# 世羅町第2次長期総合計画

平成28年度 ▶ 平成37年度



## 世羅町第2次長期総合計画

いつまでも住み続けたい日本一のふるさと  
～ひとと、歴史と、未来をつなぐ、せらのまちづくり～



平成27年12月  
世羅町

## 世羅町の強み

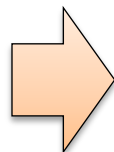
- 豊かな自然（景観）
- 各地区の伝統行事
- 農業  
（米・大豆・アスパラ・果樹等）
- 輝くせらの学校文化発表会
- 世羅町子ども議会
- 保育料，医療費補助
- 公立世羅中央病院
- 駅伝のまち（世羅高校）
- 郷土愛・支え合いの意識

## 世羅町の弱み

- 人口減少
- 高齢化（高齢者支援）
- 人材や後継者の確保  
（農業・商業・工業）
- 就業者数の減少
- 社会教育における指導者を確保・育成し，まちづくりにいかす仕組み
- 公共交通網の拡充
- 情報通信基盤の整備
- 防災体制の更なる強化  
（災害に強いまち）

## 世羅町の弱み

- 人口減少
- 高齢化（高齢者支援）
- 人材や後継者の確保  
（農業・商業・工業）
- 就業者数の減少
- 社会教育における指導者を  
確保・育成し，まちづくり  
にいかす仕組み
- 公共交通網の拡充
- 情報通信基盤の整備
- 防災体制の更なる強化  
（災害に強いまち）



## 地域課題

社会の要請

行政が担うもの

生涯学習が  
担うもの

+

各地域の課題 アンケート等 住民の声

# ① 「個人の要望」と「社会の要請」のバランス

## 個人の要望

- 住民のニーズ, 興味, 関心, 願い

(例)

英会話, 読書, 地域の歴史, 自然観察, 茶道, 俳句, 将棋, 音楽, 美術, カメラ, パソコン, ハイキング, 自然体験, 親子キャンプ, 子育て, 介護, 料理, 読書・・・等

## 社会の要請

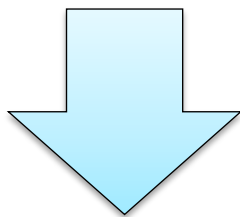
- 行政として取組まなければならない社会の存続や発展にとって必要な課題

- 人口減少
- 高齢化
- 人材や後継者の確保
- 就業者数の減少
- 社会教育における指導者を確保・育成し, まちづくりにいかす仕組み
- 公共交通網の拡充
- 情報通信基盤の整備
- 防災体制の更なる強化

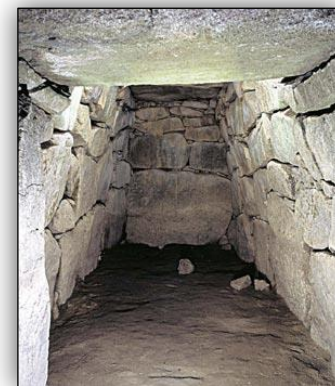
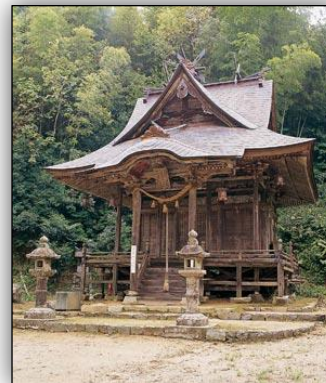
事業や講座 (両者の**バランス**が大切)

## ② 「継承」と「創造」等を通じた持続可能な社会の発展

蓄積された知識や経験



継承 創造



○各個人が学習から学んだ知識等が社会の中で循環し、  
学習成果が社会に還元される仕組みが必要

## ② 「継承」と「創造」等を通じた持続可能な社会の発展

# 輝く せらの学校文化発表会

舞台発表

平成30年11月1日(木)  
せら文化センターパストラルホール  
(世羅町大字寺町1158番地3)

◆午前の部◆ 9:30開演

- 1 オープニング(世羅高等学校 吹奏楽部)
- 2 開会行事
- 3 「せらにし小 太鼓」(せらにし小学校6年生)
- 4 「せらひがしの宝」(せらひがし小学校5・6年生)
- 5 「愛郷崇祖～想い繋げて～」(甲山中学校3年生)
- 6 鼓笛演奏(甲山小学校5・6年生)

◆午後の部◆ 13:10開演

- 7 合唱・合奏(世羅小学校6年生)
- 8 合唱「大地讃頌」他(世羅中学校 全校生徒)
- 9 組曲「明神の舞」(世羅西中学校 全校生徒)
- 10 閉会行事

展示発表

◆せら文化センターロビー  
(世羅町大字寺町1158番地3)  
平成30年10月24日(木)～11月5日(月)

◆せらにشتاونセンター町民ギャラリー  
(世羅町大字小国3381番地)  
平成30年11月7日(水)～11月13日(火)

主催：学校文化発表会実行委員会・世羅町教育委員会 共催：世羅教育研究会 協力：広島県立世羅高等学校

なつかしい白い新しい笑顔

自然と文化に触れる 体験する

新鮮な 世羅の食材を

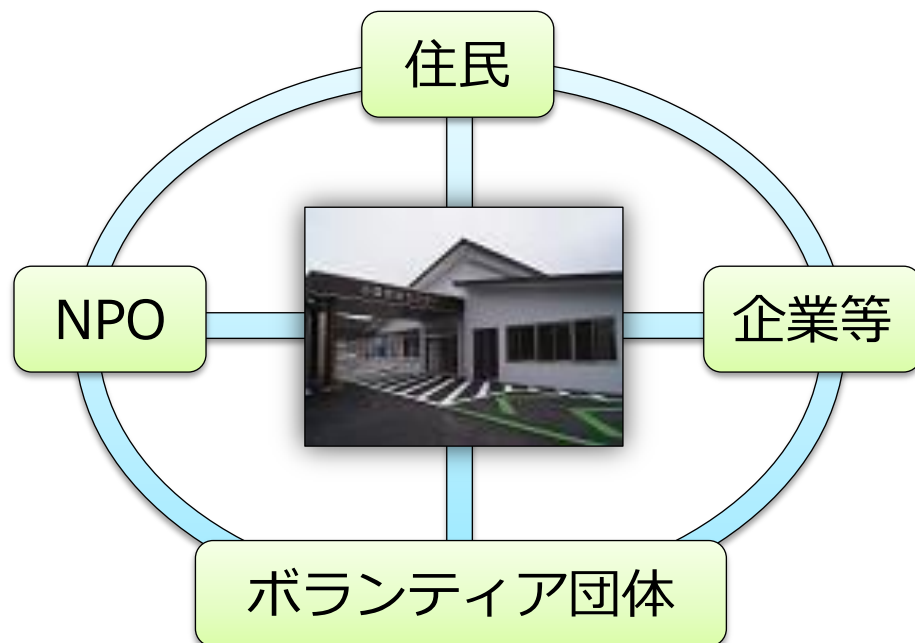
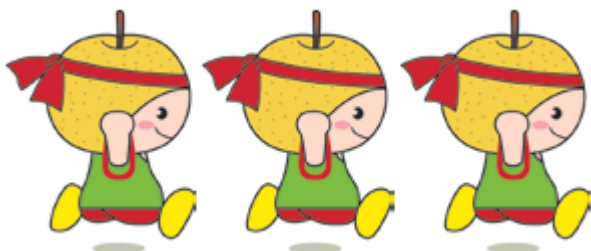
### ③連携・ネットワークを構築して施策を推進

#### 2 住民の組織づくり

##### (1) 自治センターを活動拠点とする体制整備

- ア 自治センターを協働のまちづくりの活動拠点とし、地区振興協議会が協働のまちづくり活動をけん引する役目を担います。
- イ 地域の問題点や課題などの情報が、住民、住民グループ等を通じて自治センターに集まるようにします。
- ウ 住民・ボランティア団体・NPO・企業等をネットワーク化することにより、協働のまちづくりに主体的に参画する人たちの輪を拡大します。

世羅町「第2次長期総合計画」  
p.184





## 自治センター（活動拠点）

様々な人たちが集い，学習・スポーツ・交流・遊びなどの活動を楽しめる環境



**対話を重視**

**相互の意見やアイデアの尊重**

話し合いを基本とした**地域課題を解決する**  
**組織力（地域力）**を高める取組を促進

## 自治センター

地域の問題点や課題などの情報が、住民、住民グループを通じて集まる



地域住民の  
いろいろな声



新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について  
～知の循環型社会の構築を目指して～（平成20年2月）

○目指すべき施策の方向性

- ①国民一人一人の**生涯を通じた学習**の支援
- ②社会全体の教育力の向上



○施策推進の具体的方策

- ①「**個人の要望**」と「**社会の要請**」のバランス
- ②「**継承**」と「**創造**」等を通じた持続可能な社会の発展
- ③**連携・ネットワークを構築**して施策を推進

# 自治センターの役割（世羅町自治センター設置条例より）

## 設置目的

協働のまちづくり

自治活動の振興

住民の主体的な地域づくり活動と  
生涯学習活動の拠点施設



## 事業

地域づくり活動の振興

生涯学習活動の振興

自治センターの目的を達成するために必要な事業



「たくさんの人が  
集い、学び、つながる  
せらの自治センター」

○演習の説明

10  
分

①交流シートへの記入

10  
分

②グループでの意見交流

20  
分

③グループで出た意見の紹介

10  
分

みなさまの率直な意見を聞かせてください。

自治センターの運営について、あなたが  
日頃から課題を感じている（困っている）  
ことは何ですか？



## ①活気のある自治センターにするための工夫

### 自治センターでされていること 自治センターで今後考えておられること

- 魅力ある事業づくり
- 交流の絆づくり（感情的なつながり）
- 「また行ってみたい」と思わせるしかけ
- 継続的な活動につなげる

教えてください！  
みなさまの知恵や工夫





## ②個人の要望と社会の要請（地域課題）に応えるための工夫

### 個人の要望

- それぞれの地域には、どのような住民の声がありますか。
- どのように方法で把握されていますか。

### 社会の要請

- それぞれの地域には、どのような地域課題がありますか。
- 生涯学習によって、担えそうなものはありますか。

**それぞれの地域に必要とされている、事業や講座はどのようなものが考えられますか？**

### ③「継承」と「創造」等を通じた持続可能な地域づくりのための工夫

**継 承**

○各地域で行われてきたものを受け継ぐ。

**創 造**

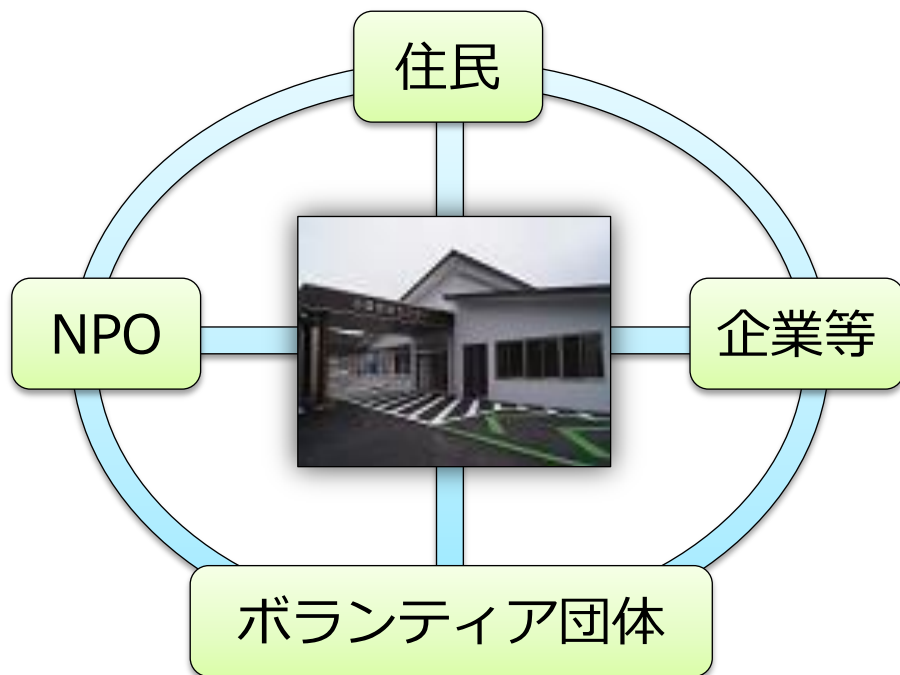
○新しいものを生み出す、  
つくり出す。

**時代のニーズや住民の年代にも配慮しながら、  
世代から世代へ受け継がれ、人が変わっても  
続けていけるもの。**

## ④連携・協働・ネットワークづくりのための工夫

# 自治センターを拠点とした 連携・協働・ネットワーク

- このような連携・協働をしています！
- このような連携・協働を試してみたい！
- このような連携・協働が求められている！



# 交流シート

**1 活気あふれる自治センターにするための工夫**  
(所属されている自治センターの工夫)

(グループで出た意見)

**2 個人の要望と社会の要請（地域課題）に応えるための工夫**  
(所属されている自治センターの工夫)

(グループで出た意見)

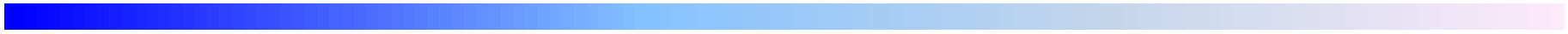
**Q:あなたが日頃から自治センターの運営について、課題を感じている(困っている)ことは何ですか？**

**3 「継承」と「創造」を通じた持続可能な地域づくりのための工夫**  
(所属されている自治センターの工夫)

(グループで出た意見)

**4 連携・協働のための工夫**  
(所属されている自治センターの工夫)

(グループで出た意見)



振り返り

**自治センターで  
ぜひ、やってみたいと思われたこと**

**みなさま、お疲れ様でした。**



**アンケートに御協力ください。**

## 広島県立生涯学習センターのキャリア別研修体系

住民の学習活動の支援者として必要な知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

### 市町職員等研修

#### 生涯学習振興・社会教育関係職員等研修

#### 集合型研修

##### 基礎研修

【3会場・各1回・定員 広島40・福山30・三次20人】

**講義** 生涯学習の基本事項、関係法令、国・県の動向  
**演習** 生涯学習振興・社会教育関係職員の役割  
**実践交流** 現場からの報告～やりがいと楽しさ～

5月18日（広島県庁）  
 5月25日（福山庁舎）  
 5月21日（三次庁舎）

##### 学習プログラム研修

【3会場・各2回・定員 広島40・福山30・三次20人】

**講義** 学習プログラム開発の理論と手法  
 学習プログラムの評価・改善の手法  
**演習** 学習プログラム開発の実際

6月15日、7月13日（広島県庁）  
 6月26日、7月30日（福山庁舎）  
 6月22日、7月20日（三次庁舎）

##### 社会教育主事等研修

【2会場・各定員20人】

理論編  
 実践編

**講義・演習・意見交流**

学びが生み出す協働の地域づくり(仮)  
 ～主体的・対話的な学びを通じた地域課題解決の理論と実践～

7月27日（福山庁舎）  
 9月10日（広島県庁）

#### 訪問型研修

センター職員が各市町に伺い、研修支援や相談等、様々なニーズに対応して積極的な支援を行う。例：「地域課題対応研修支援」「好事例の収集・発信」「市町の現状、課題、ニーズの把握・分析」等

#### 公民館等職員研修会【2会場】

（広島県公民館連合会との共催）

##### 講演・分科会

公民館等の活性化、生涯学習・社会教育の基礎、学習プログラムのリデザイン、地域リーダーの支援等

11月28日（大竹市）  
 11月29日（庄原市）

#### 社会教育委員研修会【1会場】

（広島県社会教育委員連絡協議会との共催）

**講演・パネルディスカッション**  
 社会教育委員の役割等

6月1日（廿日市市）

家庭・地域の教育力向上につながる知識・技能の習得と情報交換の場を提供します。

### コーディネーター等研修

#### 地域学校協働活動推進事業 地域学校協働活動推進員等研修会

【1会場・全2回】

**講義・演習** 地域と学校の連携・協働に関する知識、  
 コーディネーター等  
**事例発表、視察、意見・情報交換等**  
 （※第1回は「ワクワク学び隊」実践交流会と兼ねる。）

8月（広島県庁）  
 11～12月

#### 地域学校協働活動推進事業 協働活動支援員・協働活動サポーター等 研修会【3会場・各1回】

**講義** 子供との接し方  
**実技** 危機管理、応急手当・救命処置等

7月

#### 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」 ファシリテーターステップアップ研修

【2会場・各3回】

**講義・演習** 教材研究  
**意見・情報交換**

7～12月

### 資格取得を希望する方

#### 社会教育主事講習 [B]

【県内1会場・全27日】（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の地方会場として開催）

**講義** 生涯学習概論、社会教育計画、社会教育特講  
**演習** 社会教育演習（宿泊研修、現地研修を含む。）  
 ※分割履修が可能です。

平成31年  
 1月21日～2月27日

平成28年度から大幅リニューアル!

- 1 地方創生への対応**  
 →地方創生の動き等、最新動向に対応した研修内容の充実
- 2 広島版「学びの変革」への対応**  
 →自ら考え主体的に学び続ける地域リーダー等の育成
- 3 他部局等との連携**  
 →他部局等への研修機会や連携・協働の場を提供
- 4 評価・検証の徹底**  
 →各研修の成果、課題等の評価・検証による、更なる研修改善

広島県立生涯学習センターの研修は、次のことを目指しています。

- 知識・技能が修得できるよう、実践を重視した内容を提供すること。
- 参加者が自ら考えることで、何かを変える、新しいものを創るきっかけとなる場を提供すること。
- 参加者同士が、互いの実践から学ぶことや中堅・ベテラン職員の経験を伝えるなどの交流の機会を作ること。
- 市町で行われる研修で中心的な役割を果たす中堅・ベテラン職員の指導力向上の機会を提供すること。

県と市町、それぞれが担う研修で「学んだこと」や「学んだ人」が好循環する仕組みづくりを目指します。